

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 21 年 7 月 2 9 日

審査機関名 (株)JACO CDM

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	菊電照用器材の LED 化
排出削減事業者名	一般社団法人エコアース
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名：株式会社 プレンティアー)
事業実施場所	一般社団法人エコアース (有限会社マーコ他) (愛知県田原市保美町坂井戸 1 3 5 他) (会社及び会員農家 2 4 軒が実施するもの)
事業の概要	電照器材である白熱電球を LED 化し、消費電力の削減による CO2 排出量の削減を行う。
排出削減量の計画	309tCO2/年 (事業実施期間合計 1,236tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009年 4月 1日 終了予定日 2013年 3月 31日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

### 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所： 一般社団法人エコアース（会社及び会員農家24軒）</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) 既設の白熱電球をより高効率の LED 球に更新する事業であり、本事業が実施出来ない場合には、既設の白熱電球を継続的に使用できることを現品で確認した。</p> <p>3) 投資回収年数計算の根拠データ及び検算により、本事業の投資回収年数は5.2年であり、3年を超えていることを確認した。</p> <p>4) 一般社団法人エコアースは従来から、この LED 球を試行的に使用して、品質上花芽の開花抑制に効果があること、白熱電球に比べ、長寿命であることを確認している。</p> <p>本事業は、今まで積極的に取り組んできた環境改善（省エネルギー、省資源など）活動の一環として実施しており、国内クレジット制度の活用により、この地域の農家における環境への関心の高まりと CO<sub>2</sub> 削減効果が期待できること、および国内クレジット売却益が投資回収年数短縮に寄与することが事業者認識されたことが、事業への投資決定の重要な要因となった事を確認した。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画に参加していないことについては、現地有効化審査において、排出削減事業者への質問により、自主行動計画に参加していない企業であることを確認した。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認済方法論 006 に基づき排出削減を計算しており、またそれぞれの方法論の適用条件を満たしていることを個別に確認した。</p> <p>適用条件 1 については、白熱電球より高効率の LED 球に更新する事業であり、LED 球の消費電力は白熱電球より少ないことを確認した。</p> <p>適用条件 2 については、ソケットにつなぐ方式が同一であるため既設の白熱電球を継続して使用可能であることを確認した。</p> <p>適用条件 3 については、点灯時間、点灯日数により活動量の把握が可能であることを、現場視察及び関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連書類により確認した。</p> <p>なお、モニタリング対象の QA/QC について、排出削減量を管理するための項目が記述されていなかったため、是正処置を要求した。(注 1)</p>
----------------------------	--

#### 4. 特記事項

現地有効化審査を実施した結果、是正の必要な指摘事項(注 1)があった。その是正処置の完了を確認致した。

以上